

2021年 神戸大本番レベル模試 英語

解答・採点基準

全4問 80分 125点満点

I (35点)

解答

問1

(1) (い) (3) (う) (4) (う) (5) (え)

問2

自分たちの研究が政策担当者が活用するのにどのくらい実用的なものになる必要があるかを、私は理解するようになった

問3 気候問題の解決に向けた行動の重要な対象 (19字)

問4

(A) (う) (B) (え) (C) (お) (D) (い)

採点基準

問1 各3点 計12点

問2 7点満点

I've come to realize how practical our research needs to get for policy-makers to make use of it
「自分たちの研究が政策担当者が活用するのにどのくらい実用的なものになる必要があるかを、私は理解するようになった」

- ① I've come to realize を「～を、私は理解するようになった」のように訳せていれば 2 点加点。
 - 現在完了形を適切に訳せていない場合は、1 点減点。
 - come to do を「～するようになる」と正しく訳せていない場合は、1 点減点。
 - realize は「気づく」「実感する」「認識する」「わかる」でも可とする。
- ② how practical our research needs to get を「自分たちの研究がどのくらい実用的なものになる必要があるか」のように訳せていれば 3 点加点。
 - how を「いかに」の意味で訳している場合は、1 点減点。
 - get を「～になる」の意味で訳せていない場合は、1 点減点。
- ③ for policy-makers to make use of it を②に適切につながる形で「政策担当者 [政策決定者] が活用するのに [には]」のように訳せていれば 2 点加点。
 - make use of it の意味上の主語が policy-makers であることが適切に表されていない場合は、1 点減点。

問3 4点満点

- ① great targets を「重要な対象 [目標]」「格好の標的」のように説明できていれば 2 点加点。
 - great の意味を取り違えて「偉大な」「素晴らしい」などと訳している場合は、1 点減点。
- ② for climate action を「気候 (変動の) 問題の解決に向けた行動 (のため) の」「気候問題の解決のための行動がおこなわれる」のように説明できていれば 2 点加点。
 - 「気候 (変動の) 問題」「行動」の要素がない場合、それぞれ 1 点減点。
 - 「気候 (に関する) 行動の」は説明不十分とみなし、1 点減点。

問4 各3点 計12点

Ⅱ (35点)

解答

問1

(解答例1) オーガストという名は夏の月を意味しサマーという名とうまく結びつくこと。(35字)

(解答例2) 夏と8月を意味する2人の名前は共に夏に関連するという点で釣り合う。(33字)

問2

(A) (お) (B) (あ) (C) (え) (D) (う)

問3

サマーはまるでそのこと(マヤがテーブルに座ることに関する)なにもかもすべてを実際入念に考え抜いたかのよう
にそう言った。

問4 (あ), (い), (か)

問5 (ウ)

採点基準

問1 5点満点

- ① 「オーガストという名とサマーという名はうまく結びつく」「夏と8月を意味する2人の名前は釣り合う」という内容が説明されていれば3点加点。
 - our names を単に「私たちの名前」「2人の名」などとして具体的に説明していない場合、加点しない。「オーガスト」「サマー」の名前を含んでいない場合、2人の名前が「夏」「8月」を意味することが説明されていない場合がこれに当たる。
 - 「うまく結びつく」「釣り合う【釣り合いがとれている】」「相性が良い」「(似)合っている」「似ている」に類する要素がない場合、加点しない。
 - 「一致している」は1点減点。
- ② ①の理由として「(オーガストもサマーも)夏に関係する名前である」という点が指摘されていれば2点加点。
 - 単に関係しているということしか指摘しておらず、「夏」への言及がない場合は1点の加点にとどめる。

問2 各3点 計12点

問3 5点

She said it as if she'd actually thought the whole thing through.

「サマーはまるでそのこと(マヤがテーブルに座ることに関する)なにもかもすべてを実際入念に考え抜いたかのよう

- にそう言った。」
- ① She said it as if を「彼女【サマー】はまるで~かのように(そう)言った」のように訳せていれば2点加点。
 - 「まるで~かのように」の要素がない場合、加点しない。
 - ② she'd actually thought the whole thing through を「(彼女【サマー】は)そのこと【マヤがテーブルに座ることに関する】(なにもかも)すべてを実際入念に【慎重に】考え抜いた」のように訳せていれば3点加点。
 - 解答の括弧内要素(マヤがテーブルに座ることに関する)は「そのこと(the [...] thing)」の補足説明であり、必須ではない。この部分は直前の「そのこと」と入れ替えても可とする。
 - ただし、「そのこと(the [...] thing)」の説明が間違っている場合は2点減点。
 - 「入念に【慎重に】」もしくは「...し抜く」といった要素がなく、thought...through を単に「考えた」などとしている場合は1点減点。
 - 仮定法過去完了が適切に訳せていない場合は1点減点。「考え抜く(かのように~)」といった表現がこれに当たる。

問4 各3点 計9点

問5 4点

Ⅲ (30点)

解答

問1

(解答例1) テニス選手の脳は、感知した飛んでくる物体を確認し、それがどのように飛んでくる可能性が高いか見極める必要がある。(55字)

(解答例2) テニス選手の脳は、感知した飛んでくる物体をそれだと認識し、その物体の予想される軌道を見極めなくてはならない。(54字)

問2 glucose and oxygen

問3

(3) 脳の中で物事がどこでどのように起こるかを解き明かす(こと)

(4) 運動選手は経験豊富であればあるほど、対戦相手の動きに基づいてこれから何が起ころうとしているのかをよりよく推測できる

問4 (A) (う) (B) (お) (C) (あ) (D) (え)

採点基準

問1 6点満点

- ① 「(最初のサーブを返す時の) テニス選手の脳は、感知した(危険なほど素早く飛んでくる)物体を確認し」「テニス選手の脳は、感知した物体をそれ[テニスの球]だと認識し」という内容が説明されていれば3点加点。
 - itを「テニス選手の脳」と説明できていない場合は2点減点。
 - the objectを「感知した物体」「(危険なほど素早く)飛んでくる物体」「テニスの球」などと具体的に説明しておらず、単に「物体」などとしている場合は1点減点。
- ② 「それがどのように飛んでくる可能性が高いか[その物体の予期される軌道を]見極める必要がある」という内容が説明されていれば3点加点。
 - its likely pathを「それがどのように飛んでくる可能性が高いか」「その物体の予想される軌道」のようにわかりやすく説明できていない場合は2点減点。

問2 4点

- * glucose and oxygen as fuelは2点の加点にとどめる。

問3

(3) 3点満点

working out where and how things happen in the brain

「脳の中で物事がどこどのように起こるかを解き明かす(こと)」

- ① working outを「～を解き明かす(こと)」のように訳してあれば1点加点。
 - 「～を理解する(こと)」も可とする。
- ② where and how things happen in the brainを「脳の中で物事がどこどのように起こるか」のように訳してあれば2点加点。
 - whereとhowの文法的役割をいずれも正しく理解できていないことが窺われる場合、加点なし。

(4) 5点満点

The more experience an athlete has, the better they are at doing this

「運動選手は経験豊富であればあるほど、対戦相手の動きに基づいてこれから何が起ころうとしているのかをよりよく推測できる」

- * The+比較級, the+比較級を「～であればあるほど…」のように適切に訳せていない場合は全体から3点減点。
 - ① The more experience an athlete hasを「運動選手は経験豊富であればあるほど」のように訳してあれば2点加点。
 - ② the better they are at doing thisを「対戦相手の動きに基づいてこれから何が起ころうとしているのかをより上手に推測できる」のように訳してあれば3点加点。
- thisの内容が適切に説明されていなければ2点減点。

問4 各3点 計12点

IV (25 点)

解答

(1)

(解答例 1)

There is an obvious financial benefit for multi-generational family homes. Many elderly people worry about healthcare costs late in life. With support from the younger generations within the family, they will be spared the expense of assisted living or a nursing home.

(42 words)

(解答例 2)

Children who are raised in multi-generational family living can develop their social skill at home, because they are surrounded by people from various generations and can naturally learn how to mix well with people with different viewpoints and modes of thought.

(41 words)

(2)

(解答例 1)

It depends on the size of the house whether a lack of privacy is an issue in a multi-generational household. Creating private space will be much more difficult if you live in a smaller house. Furthermore, conflicts may occur between generations, but these can also be opportunities for both the young and the old to learn how to deal with problems between people of different ages.

(66 words)

(解答例 2)

We may think a multi-generational home is a threat to privacy. But is it true? The smaller the family is, the more easily we lose sense of distance between family members, and step too far into their matters. In multi-generational households, people can learn to keep comfortable distances from other relatives, respecting their privacy. Therefore, a lack of privacy is not a downside of multi-generation families.

(66 words)

採点基準

(1) 10 点満点

*英文を正確に読むことができず、提示された問いに対しての解答となっていないと思われるものは、この設問は 0 点とする。

- ① 寿命を伸ばすということ以外に多世代家族の利点が明記されていれば 2 点加点。
- ② ①で述べた自らの立場を補強するための理由や具体例が適切な形で挙げられていれば 8 点加点。
- ①の主張を基礎づける理由や具体例として明らかに成り立たない場合や①の主張に至るまでの因果関係として明らかに成り立たない場合は 1 箇所につき 3 点減点。

(2) 15 点満点

*英文を正確に読むことができず、提示された問いに対しての解答となっていないと思われるものは、この設問は 0 点とする。

- ① プライバシーの欠如や世代間の不和は多世代家族の欠点であるという考えに対する自分の意見が明記されていれば 3 点加点。
- 賛否を求める問題ではないため、賛否がはっきりと示されていなくても減点しない。
- 「プライバシーの欠如」と「世代間の不和」のいずれか 1 つにしか言及していなくても減点しない。
- ② ①で述べた自らの考えを補強するための理由や具体例が適切な形で挙げられていれば 12 点加点。
- ただし、①の立場を基礎づける理由として明らかに成り立たない箇所がある場合や①の考えに至るまでの因果関係として明らかに成り立たない場合、1 か所につき 5 点減点。